

北高祭 - 「Splash～しぶきをあげろ青春の汗～」 - 開催

9月2日、北高祭が一般公開され、951名のお客様においでいただきました。テーマ「Splash～しぶきをあげろ青春の汗～」のもと、1日の校内発表や前日祭に引き続き、文化部の発表やパフォーマンス、出店等、楽しい文化祭となりました。PTAの皆様にも出店いただき、大変盛り上がりきました。おいでいただきました多くの皆様に御礼を申し上げます。



吹奏楽部と男声合唱団イケメンズのステージ

PTAの皆さまによる出店準備の様子



華道部は浴衣でお客様をお迎え



北高祭を終えて
 文化祭実行委員長 菅野悠太
 (3年・岩沼西中出身)

今まで私は、行事はどちらかと言うと「参加する立場」で、今回初めて「運営する立場」を経験しました。行事を成功させるためには、見えない所で様々な人が動いており、実行委員が助け合って北高祭を成功させたことができたことを痛感しています。また、多くの人の前で話したり、適切な指示を出す難しさや体験するなど、今までとは違う視点から行事を経験することができました。北高生が協力し合うことを大切に、先輩たちにはさらにパワーアップした北高祭に繋げて欲しいです。皆様、本当にありがとうございました。



陸上競技部 大内奎吾さん 東北新人に出場決定！

9月8日、県高校新人陸上競技大会5000m競歩で4位に入賞し、9月28日から北上市で行われる東北高校新人陸上競技選手権に出場が決定しました。

東北新人に向けて

大内奎吾 (2年・村田二中出身)

今回の結果を出すことができたのは、支えてくださった多くの方々のおかげです。本当にありがとうございました。東北新人では、スタート地点に立てる喜び、皆さまへの感謝の気持ちを持って、自分の歩きをしたいと思います。まだまだ未熟なところばかりですが、上位入賞目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。



国際交流活動で7人の留学生が来校

9月5日、宮城復興支援センターより7名の留学生が来校し、1年の各クラス毎に4名の留学生と交流しました。エジプト、アルジェリア、カナダ、ヨルダン、ナイジェリア、ロシア、スリランカと多彩な国の文化を紹介いただき、様々な視点や価値観に触れることができました。



国際交流活動を通して

藤原咲歩 (1年・柳生中出身)

留学生の皆さんが自分の国の良さを誇らしく話している姿を見て、とても楽しく感じました。英語で何と質問したらよいか戸惑っていると、ナイジェリアの留学生は「自分も日本語が分からない。うまく話せないことを気にせず、もっと自信を持って！」とってくれたことが嬉しかったです。留学生の皆さんは、質問したことにたくさん答えてくれたのに、一部しか聞き取れないことが残念で、もっと英語を勉強して、話せるようになりたいと思いました。外国は怖いというイメージを一方的に持っていましたが、留学生の皆さんの優しさが伝わり、行ってみたいと初めて思いました。



図書視聴覚委員 名取市子ども読書活動支援事業にボランティア参加

7月22日、名取市図書館主催の「Let's理科読」が名取市文化会館で開催され、図書視聴覚委員が「子どもが本から科学を楽しむ」アシスタントとして参加しました。(以下 参加者感想) / 今田 鈴 (写真右・1年・名取一中出身) ~私はこれまで自分の意志でボランティアに参加したことがなかったので、図書委員として体験・参加できたことに感謝しています。来てくれた沢山の子ども達に紙飛行機の折り方を教えるな



ど一緒に遊ぶことで、子どもが好きになりました。来年からも参加し続けたいと思います。 / 板橋 怜奈 (写真左・1年・名取二中出身) ~今まで沢山の子ども達と触れ合う機会がなかったので不安でしたが、イベントを通して子ども達の笑顔を見ることができ、感謝の言葉を貰えることがこんなにも嬉しいことなのだ実感しました。参加できたことに感謝しています。

9月30日に開幕するプロバスケットBリーグ。地元SENDAI 89ersはB1復帰をかけたシーズンに挑みます。今年からキャプテンを務める柳川龍之介さん（仙台市出身・89ers3年目）が9月11日に来校し、北高生へメッセージをいただきました。

時間は限られているからこそ濃くできる
SENDAI 89ersキャプテン 柳川龍之介



● キャプテンとしての抱負を
89ersは個人の力では戦えません。スタッフも含めてファミリアになることが、昨シーズンB2に落ちた現状を打開するために必要です。そのためにコミュニケーションが何よりも大切で、選手が自分の意見を言い、互いを理解し合える環境を作ることがキャプテンの役割だと思っています。

● 今、課題としていることは

課題はチームのルール（決まり）です。ルールとは「縛り」ではなく、皆が同じベクトルを持つためのもの。各選手が長所を發揮できる状況を作るためには、個人の能力や勢いだけでは限界があり、チームとして戦えないと勝てない。チームの課題は個人ではなくチームでしか解決できません。練習はそのためにある。理解し合い察知する力を育て、ファミリアになる大切さがそこにあります。今日できたことが明日でもできるとは限らないから、フラストレーションを自分達自身で掛け、克服してゆくことで自信に繋げてゆきます。

● 高校生へのアドバイス

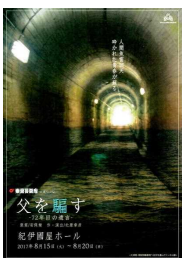
時間を大切にすることです。時間は限られているからこそ、やり方次第ではいくらでも濃くできる。漫然と毎日に臨むのではなく、ひとつひとつのプレー（行動）に理由を持ち、説明ができないとダメ。今の時間をやり切る習慣をつけることが、自分や仲間の可能性を広げる最も大切なことです。

● 大切にしたいこと

プロ選手だから凄いとはいませんが、（広島在籍時の）天皇杯準優勝をキャリアと思ったりもしません。大切なのは、人がお互いの力になれる関係でいるかということ。チーム内でもファミリアを目指すように、ブリーダー（ファン）の皆様にも感動を与えたいし、応援していただくことが何よりも自分の力になる。人は、一方通行ではなく、双方方向の関係であることで頑張れるのだと思います。北高の皆さんも何にでも挑戦できます。応援しています！



演劇部顧問 安保 健 教諭の作品を東京芸術座が公演



8月15～20日、安保 健教諭の作品が東京で上演されました。この作品は本校演劇部が2014年の東北大会で優秀賞第一席になった作品です。連日満員で多くのファンに観劇いただきました。

東京芸術座公演に思う

安保 健（本校教諭）



3年前、香川県の高松市で本校演劇部が東北代表で『父を騙す』という創作劇を上演することになりました。コンクールではないので開放感があり、のびのびと部員一同演じることができました。上演後、達成感と満足感で瀬戸内海の美しい海を眺めました。その芝居は好評でプロの目にとまりました。100人を超える劇団員の伝統のある東京芸術座が『父を騙す』を東京の演劇界では有名な紀伊國屋ホールで上演することになりました。私は練習から上演まで見せて頂きました。この芝居は私の父をモデルに書いた芝居です。ふと死んだ父が会場で満足そうに見ているように思えました。この芝居は演劇部の生徒と格闘して作った芝居です。演劇部の部員に感謝しています。

同窓会総会開催

8月11日、ホテルJALシティを会場に平成29年度同窓会総会を開催しました。51名の参加をいただき、来年度行われる創立40周年記念式典の同窓会の協力体制等の議題の後、和やかな懇親会となりました。



写真部 閉上校外展開催

写真部は7月15日～8月26日、閉上にあるメイプル館で校外展を行い、夏休みに閉上を訪れた多くの皆様に作品を見ていただきました。また、8月より美田園にある宮城県総合教育センター3階に作品が展示されています。



学校(授業)公開週間を実施します

日時：10月30日(月)～11月2日(木)

9:50～12:40 (2～4校時・受付12時マテ)

保護者、学校関係者、近隣地域にお住まいの方を対象に、学校(授業)公開を行っています。申込不要です(受付で記名いただきます)。どうぞお誘いあわせのうえ来校ください。(11:30～食堂利用できます)

吹奏楽部 大型ホーム用品店でミニコンサート



7月17日、長町の大型ホーム用品店食堂を会場にミニコンサートを行いました。多くの人々に足を止めていただき、演奏を楽しんでいただきました。

【宮城県名取北高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail chief@natorikita.myswan.ne.jp

(担当) 教頭・町田尚彦



(学校だよりのご感想をお寄せください)